

第6回 トレーナースキルアップセミナー

● 開催報告 ●

1. セミナー開催情報

テーマ：テキスト第9章「化学物質の危険性」に関する学習会

日時：2016年10月21日（金）

自由参加型勉強会 10:00～12:00

セミナー 13:00～17:15

会場：一般社団法人 東京トラック協会
東京トラック総合会館

参加者：31名

内訳 トレーナー 18名

シニアトレーナー 3名

安全教育専門委員、事務局



2. プログラム

午前の部 自由参加型勉強会

i) プレゼンテーションスキル：石川委員

午後の部 セミナー

i) 開催の辞：西沢委員長

ii) セミナーの概略説明：塩出委員

iii) 特別講演：

三重富士通セミコンダクター株式会社 羽田 将也様

iv) “第9章 化学物質の危険性”解説：松田シニアトレーナー

v) 化学物質による事故事例の紹介：石川委員

vi) グループディスカッション：佐藤委員

vii) 事務局からのお知らせ

viii) 閉会の辞：塩出委員

ix) 懇親会

3. 自由参加型勉強会（午前の部）



SEAJ 推奨安全教育のテキストも R3.0 となり、この間、各社様で多くのトレーナーが育成されてきましたが、トレーナー養成講座のアンケートからは、依然として講師としてのスキルアップのご要望が多く寄せられています。

そこで今一度基本に立ち返り、石川委員より「人前で話す時、何を意識していますか」、「上手なプレゼンとは」、「分かり易い論理的な表現」について実習しながらの講義が行われました。

また、PREP 法の利用例の学習から「プレゼンテーションスキル」の実習を通じ、実践での使い方や展開方法を学習いただき、各グループより代表者での発表により効果の確認を行いました。

4. トレーナースキルアップセミナー（午後の部）

開催の辞



西沢委員長により開催の挨拶がありました。

5. セミナーの概略説明



塩出委員(トレーナースキルアップ分科会リーダー)より、セミナーのプログラムと目的の説明がありました。

6. 特別講演



三重富士通セミコンダクター株式会社 羽田将也様より自社における「安全と作業品質」について講演していただきました。会社紹介の後、「クリーンルームの危険要素」、「責任と危険予知」、「作業品質」について実際の具体例をご紹介いただき、説明が具体的かつ丁寧だった為、非常に判り易い内容でした。参加者全員に対し、作業者の身を守るスキルと意識を高める事が重要との、非常に良い啓蒙となりました。

7. “第9章 化学物質の危険性” 解説



松田シニアトレーナーより、「第9章化学物質の危険性」に関してこの章に必要な情報、知識の解説がありました。(尚、今回は「ガスの安全教育」は、除いています。)特に「絶対に事故を起こさない」「絶対に漏らさない」「絶対に暴露しない」の3点を原則として、深い経験を通じた専門家ならではの熱い思いも伝えられました。半導体製造工場のみならず、生活環境においても、「危険性」を充分に確認する必要と、注意すべき「化学物質」が存在する事への留意を再認識させられました。

8. 化学物質による事故事例の紹介



石川委員より化学物質による事故・災害事例の紹介がありました。超純水、フッ化水素、アセトンの事故事例とSDSの重要性の関連の説明がありました。トレーナーの皆様へは、「講習の際はSDSを準備して解説して欲しい」というアドバイスもありました。

9. グループディスカッション



佐藤委員の司会により、化学物質の事故事例「天津大爆発事故はなぜ起きたか」を題材に参加トレーナー全員にグループディスカッションを行ないました。その発表では、各グループ共、「あなたは、この事例をどのように教育に生かしますか」について、原因や、対策を正確に把握してい

ただいたことが確認できました。その後の解説や、質疑応答を通じ、今回の事故事例から

化学物質の危険性を伝える知識や、対策方法も、参加トレーナーに習得いただきました。

グループ討議

グループ: _____

■ 天津大橋発火事故の事例について

あなたは、この事例をどのように教育に生かしますか？。

事故の根本原因はどこにありましたか？。

被害拡大の再発を防止するためにはどうしますか？。

教育で、最も強調すべきポイントは何ですか？。

SEAJ 2016/10/21 トレーナー養成講座 2日目 SEAJ 安全教育専門委員会 トレーナースキル分科会 Page 14

10. 事務局からのお知らせ



事務局からは、2016年度現在のトレーナー数の報告、安全教育専門委員会の活動の概要報告シニアトレーナーの紹介、テキスト改訂版等の報告がありました。

11. 閉会の辞

質疑応答の後、塩出委員より閉会の挨拶がありました。

12. 懇親会

たいへんたくさんの参加をいただき、日頃の疑問点や、講習の御苦労等をシニアトレーナー、委員、事務局と真剣に話し合う姿が見受けられました。

13. まとめ

今回で第6回目となる本セミナーですが、テーマを第9章「化学物質の危険性」としました。

本章は我々、装置メーカーの中でも化学物質の取扱いが無かったり、メーカー間でも“その危険性の認識度に格差”があるのが現実です。しかしながら、顧客先 CR 作業では、その危険性が存在する環境下で働く必要が有ります。今回のセミナーでは、トレーナーの皆様が講習を実施する際に、その危険性を再認識していただける情報や事例が提供できたのではないかと自負しています。

今後もトレーナー養成講座では得られない経験と知識をセミナーから受け取っていただけるよう、努力して行きたいと考えています。

また、今回より開催月を10月とさせていただきました。前回までの2月開催より、参加しやすいとのご意見もいただきましたので、10月開催にて継続させていただく予定です。

以下、今回参加戴いたトレーナーの皆様より寄せられたアンケート結果を、いくつかご紹介させていただきます。

- あまり身近でない化学物質の安全教育をどのように展開すればよいか、ヒントが掴めた。
- プレゼンの重要性、安全の視点が再確認できてよかった。
- ベテランの方の中でのディスカッションは学ぶことが多い。本質的な部分で受講できたことはよかった。今後活用していきたい。
- 化学物質についてどのように受講者へ伝えるのかのノウハウを学習できたと思います。
- 事例が豊富で知見が広がりました。
- 各トレーナーの自分自身の経験、知識をうまく言葉にしているところを見習います。
- 化学物質の章の作成した方の熱い気持ちがわかりました。絶対に事故を起こさない…。
- 何を伝えるか？相手は何を知りたいか？もう一度考えてみます。
- 直接業務に関係なくても CR 内ではいろいろな危険が存在しており、それらを検知する知識や感覚を持つことを伝えたいと思います。
- SDS の活用を入れる。少ない時間での説明なので今まであまり活用できていなかった。
- 大変有意義なセミナーでした。今後も引き続き開催をお願いします。
- 初めて皆さんとディスカッションできてよかったです。今後も参加したい。

(安全教育専門委員会 トレーナースキルアップ分科会
佐藤 吉弥)